

1 科目の名称

人間と社会

2 目標

価値の理解を深める学習、選択

3 学習内容

(1) 演習【時数 21時間】

- ・行動に関する能力を育成する学習、体験活動などを通して、道徳性を養い、判断基準(価値観)を高めることで、社会的現実にも照らし、よりよい生き方を主体的に選択し行動する力を育成する。

ア [2章] 学ぶことの意義(教務部)【時数 1時間】:全体ガイダンス

- 学びで大切な事。他

イ [12章] 支え合う社会(防災委員会)【時数 2時間】

- 社会に貢献する活動(災害支援)を考える。(体験活動事前指導含む)

ウ [13章] 地域社会を築く(学年)【時数 1時間】

- 体験活動の意義・心構え。(体験活動事前指導含む)

エ [5章] マナーと社会のルールについて考える(生活指導部)【時数 2時間】

- マナーやルールの意義について考える。他

オ [10章] お金の意義について考える(教務部)【時数 2時間】

- 社会に出て気を付けたいお金の事を理解する。他

カ [19章] 主権者としての自覚(公民科)【時数 2時間】

- 主権者としての自覚を考える。他

キ [6章] スマートフォンの時代のコミュニケーション(工業科)【時数 2時間】

- スマートフォンの時代のコミュニケーションの注意点と有効活用できる点を理解する。他

ク [9章] 人生とワーク・ライフ・バランス (保健部) 【時数 2時間】

●ワーク・ライフ・バランスを実現するために

ケ [3章] 働くことの意義 (進路指導部・キャリア委員会) 【時数 3時間】

●興味ある職業の知識を得るとともに、職業への関心を深める。(体験活動事前指導含む)

コ 事後学習【時数 4時間】

活動記録の整理、自己評価のまとめ、活動報告書の作成、活動成果の発表

(2) 体験活動【時数 15～27時間】

ア 地域と連携した防災活動

イ 近隣地域の清掃活動

ウ 地区青少年対策委員会の行事参加

エ 社会福祉協議会主催の奉仕活動参加

オ 職業人インタビュー

カ インターンシップ

4 履修学年及び履修単位数

工業科全科 第1学年および2学年 1単位 (ポイント・リザーブ制)

演習は期末試験後の授業日および一部通常の授業日に実施。

5 体験活動の実施時期

ア 通常の授業日及び期末試験後の授業日

イ 夏季休業日及び冬季休業日等の長期休業期間

ウ 週休日

(様式3の2) [年間指導計画] 「人間と社会」用

東京都立 府中工科高等学校 全日制 課程 工業 科

6 年間指導計画

(1) 授業の1単位時間：(50) 分間

(2) 年間指導計画：1学年

月	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間
4月	【演習】「序章 人間と社会～学習の視点～」 ●学ぶことの意義 ※全体ガイダンス	●学びで大切な事。他		1
6月	●支え合う社会	●社会に貢献する活動（災害支援）を考える。（体験活動事前指導）	それぞれの演習についてアクティブラーニングを行う。	2
7月	●地域社会を築く	●体験活動の意義・心構えについて考える。（体験活動事前指導）	【課題意識】 【主体的な取組】 【意識行動変容】 【貢献】	1
	●マナーと社会のルールについて考える	●ルールやマナーの意義について考える。	・基礎的な知識・理解・活動の意義についてワークシートにまとめて提出	2
	●お金の意義について考える	●社会に出て気を付けたいお金のことを理解する。	・活動を自己評価し、学習成果の達成状況について報告書を提出	2
12月	●主権者としての自覚	●主権者としての自覚を考える。	・活動成果の発表	2
	●スマートフォンの時代のコミュニケーション	●スマートフォンの時代のコミュニケーションの注意点と有効活用できる点を理解する。他	等	2
2月	●人生とワーク・ライフ・バランス	●ワーク・ライフ・バランスを実現するために。		2
3月	●事後学習・まとめ	活動記録の整理・自己評価のまとめ 活動報告書の作成・活動成果の発表		2
演習配当時間				16
6月	【体験活動】 ●支え合う社会	●地域と連携した防災活動 府中消防署、消防団、関ノ原自治会、ファミリート府中（老人介護施設）等と連携し、防災体験活動を運営し、発災の際の地域連携の在り方について学ぶ。	体験活動を通して得られた成果、課題解決への取り組みを自己評価し、受け入れ先の評価とともに評価表に記入して提出	2
7月	●地域社会を築く	●近隣地域の清掃活動 ●地区青少年対策委員会の行事参加 地域のスポーツフェスティバルでオリジナル飛行機作成の指導をする。 ●社会福祉協議会の奉仕活動参加 障害者支援ボランティア等を実施する。	【課題意識】 【主体的な取組】 【意識行動変容】 【貢献】 演習との関連を意識	4 2 2
体験配当時間				10

年間指導計画：2 学年

月	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間	
10月	【演習】 ●働くことの意義	●興味ある職業の知識を得るとともに、 職業への関心を深める。 (体験活動事前指導)	それぞれの演習についてアクティブラーニングを行う。 【課題意識】 【主体的な取組】 【意識行動変容】 【貢献】 ・基礎的な知識・理解・活動の意義についてワークシートにまとめて提出 ・活動を自己評価し、学習成果の達成状況について報告書を提出 ・活動成果の発表 等	1	
11月				●奉仕・キャリア教育に関する基礎知識を理解する。	2
12月				●事後学習・まとめ 活動記録の整理・自己評価のまとめ 活動報告書の作成・活動成果の発表	2
演習配当時間				5	
10月	【体験活動】 ●働くことの意義	●職業人インタビュー 生徒が職業人を一人選択し、インタビューをすることで職業選択からプロフェッショナルになるまでをまとめ、クラスで共有する。 ●インターンシップ 就業体験時間を1日5時間とする。	体験活動を通して得られた成果、課題解決への取り組みを自己評価し、受け入れ先の評価とともに評価表に記入して提出 【課題意識】 【主体的な取組】 【意識行動変容】 【貢献】 演習との関連を意識 訪問先の研究	2	
11月				15	
体験配当時間				17	
2 年 間 配 当 時 数 演習：21時間 体験：15～27時間					